

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年9月 16 日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部史学地理学科西洋史学専攻
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学バークレー校 現地言語: 英語
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月25日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月～12月 2学期:1月～5月 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	42519
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	7077.42	円	一単位 550ドル
宿舍費	5860	円	
食費	600	円	session 後の旅行分も含む
図書費	80	円	
学用品費		円	
教養娯楽費	25	円	ミュージカル鑑賞
被服費		円	
医療費		円	
保険費		27215円	形態:明大サポート
渡航旅費		187290円	
雑費	1500	円	旅費、お土産代など
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 羽田→サンフランシスコ、ロサンゼルス→成田

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 187290

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

International house

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 \_\_\_\_\_ )

3)住居を探した方法:

留学報告書、知人からのアドバイス

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ご飯は日によって当たりはずれがありました。ビュッフェスタイルなので自分が食べたいものを好きなだけ食べられますが、自分で気を付けないと確実に太ります。相部屋も考えましたが、私は時間を自由に使える一人部屋で良かったです。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮や大学の事務所に相談しました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

主に友人から情報を得ていました。私は大丈夫だったのですが、バートに乗っているときにスマホをとられたり、ホームレスに絡まれたりした人がいたようなので、周囲に気を付けて過ごしていました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフトバンクだったのでアメリカ放題を利用しました。寮のwifiの繋がりは良好でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金とデビットカード、クレジットカードを使用しました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に現地で何でも買えます。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前にクレジットカードで支払いしました。セッション中に授業数を増やしたので現地で再度支払いをしました。

## 卒業後の進路について

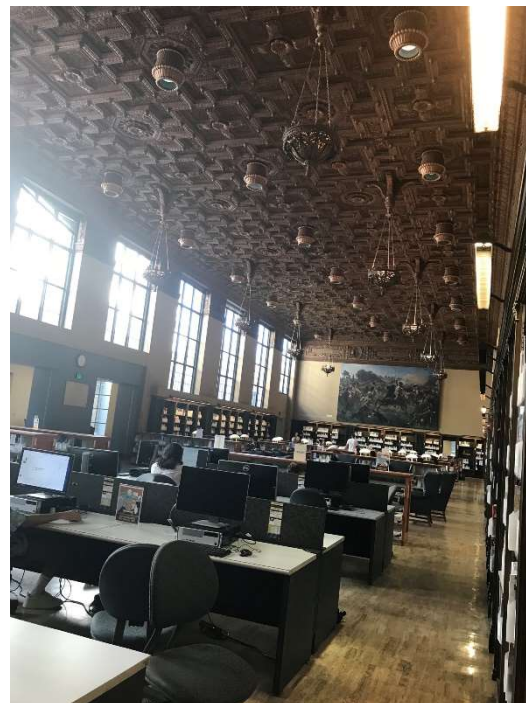
1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
11 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Music in American Cultures	アメリカ文化における音楽
科目設置学部・研究科	Music
履修期間	SessionA
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が4回
担当教授	Tamara Roberts
授業内容	アメリカの様々な音楽をその歴史的背景と共に学びました。
試験・課題など	毎週末に課題がありました。試験は中間と期末の二回で、どちらも online で行われました。
感想を自由記入	バークレーに来てすぐの授業だったので耳が英語に慣れず、初めの頃は先生の言っていることが理解できないこともありました。私以外に日本人がいなかったので授業についていけるのか不安になり履修変更も考えましたが、わからないことは現地生に聞いたりして何とか乗り切りました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Gender and Women's Studies	ジェンダー・女性学入門
科目設置学部・研究科	GWS
履修期間	SessionD
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Barbara Barnes
授業内容	ジェンダーや女性に関わる問題を幅広く学びました。授業は主にリーディング課題に沿って行われました。
試験・課題など	課題は short assignment が 4 つ。中間試験はなく、期末試験はテストとエッセイでした。
感想を自由記入	具体的なことから、ジェンダーとは、女性・男性とは何かといった抽象的なことにも取り組み、多くを考えさせられました。次から次へと出される課題と向き合う、とにかくずっと課題に追われた6週間でした。リーディングや課題が終わらず寝不足になることもあってとても大変でしたが、得られることも多く、この授業を取って良かったと思っています。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Language Studies: Broadway Musicals	英語:ブロードウェイミュージカル
科目設置学部・研究科	COLWRIT
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	David Fransca
授業内容	ブロードウェイミュージカルの歴史をたどりながら、アメリカ文化がどのように影響を与えたのかを学びました。
試験・課題など	6週間で7つのミュージカル映画の鑑賞とレポート、教科書のリーディングが主な課題でした。試験は、授業の内容から出され量もわりと多いですが、持ち込み可なのでノートをちゃんと取ったら大丈夫だと思います。また最終週にプレゼンがありました。
感想を自由記入	gender の授業が大変だったこともあり、この授業は比較的簡単に感じました。ただミュージカル映画の鑑賞の課題が意外と面倒くさかったです。クラスの雰囲気は和気あいあいとしていて、クラスメイトとも仲良くなれました。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	大学入学
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	TOEIC の勉強
4月～7月	
8月～9月	1ヶ月間のイギリス留学
10月～12月	出願
2019年 1月～3月	履修登録、寮の申し込みなど
4月～7月	ビザ申請、航空券手配 SessionA の中間・期末試験
8月～9月	SessionD の期末試験 帰国
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	もともと映画などを通じて海外の文化・歴史に興味があり、高校生の頃から留学したいと考えていました。そして大学二年生のときに夏休みを利用してイギリスへ留学しました。しかし1ヶ月という短い期間に物足りなさを感じ、より長い期間留学ができ、かつ就職活動にもあまり影響がなさそうなサマーセッションズプログラムに参加しようと決めました。また TOEIC のスコアで出願が可能なこと、奨学金の制度が整っていることもこの留学を決意した要因です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語の勉強は大学に入ってから継続的に行っていましたが、それでも全然足りませんでした。留学前は何かと忙しく、現地で取る授業の勉強をあまりしなかったため、先生や他の生徒の話についていくのが大変でした。もっと事前にやっておけばより理解できたのかなと思いました。またレポートを書くことにはわりと慣れていたのですが、日本とアメリカではやり方が全然違うので、引用の仕方などをあらかじめ確認しておいた方がいいと思います。
この留学先を選んだ理由	私は IELTS や TOFEL を受験したことがなく、TOEIC のスコアしか持っていなかったため、留学の出願先が限られていました。その中で、世界大学ランキング上位にランクインするカリフォルニア大学への留学プログラムがあることを知り、特にレベルの高いバークレーを選びました。せっかく留学するのなら、あえて厳しい環境に身を置くことで自分自身の成長に繋がると思ったからです。実際、現地生はもろろんのこと、留学生的レベルもとても高かったです。
大学・学生の雰囲気	平日は課題をこなし、休みの日はどこかへ出かけるといったように、勉強と遊びのオンオフがきちりしている人が多かった印象です。バークレーはそれほど都会というわけでもなく、学生街なので勉強に集中できる環境だと思います。日本のキャンパスと比べてアメリカのキャンパスはとても広く、開放的です。しかしその分、人によっては寮からかなり離れた建物で授業を受けることになるので、そこまで行くのに時間がかかり大変そうでした。
寮の雰囲気	International House という名前の通り、世界中から留学生が集まる寮で、誰とでも気軽に仲良くなれる雰囲気でした。イベントがたくさん用意されていて、特に毎週水曜日に行われる coffee hour に参加することで知り合いがかなり増えました。その他、野球や遊園地、ミュージカルなどのチケットが resident 限定で安く買えました。セッションの後半になると一気に人が増えて、食堂がとても混んでいたりと、洗濯機が全部使われてしまっていたりと煩わしいこともありました。
交友関係	留学前はなるべく日本人同士で固まらないようにしようと思っていたのですが、基本的には日本人の子たちと一緒にいることが多かったのです。やはり日本語で話す自分の言いたいことがしっかり伝わる安心感があったし、お互いに励まし合ったりして、勉強のいいリフレッシュになりました。また、同じクラスで仲良くなった香港の子と一緒にご飯を食べたり、旅行に行きました。その子を通じてさらに新しい友人もでき、輪が広がりました。
困ったこと、大変だったこと	通常は1セメスターかけて学ぶことを6週間という非常に短い期間でやらなければいけないため、授業のスピードがとても速く、ついていくのが大変でした。またバートに乗るときに、私のクレジットカードではなぜかクリッパーカード(パスモのようなもの)にチャージできなかったため、予想以上に現金が必要になりました。その他、友人と出かけた外食するときなど、何かと現金は必要になるので、途中で足りなくならないように上手く調整するのが大変でした。
学習内容・勉強について	日本で歴史学を勉強しているので、アメリカでも歴史の授業を取ろうと思っていましたが、登録していた授業がことごとくキャンセルになってしまいました。結局専攻と直接は関係のない授業を取ることにりましたが、逆に自分の視野を広げることができたので良かったです。私が取った授業は講義中心でディスカッションをする機会は少なかったです。わからないことはそのままにせず、オフィスパワーを利用してその日のうちに理解するように心掛けました。

課題・試験について	どの授業も課題量は多かったのですが、特にジェンダー学のリーディング量はすごく多かったです。全文を読むととてつもなく時間がかかってしまうので、パラグラフごとの要点をおさえることで何とか内容をつかみました。セッション A は授業を一つしか取っておらず、オンライン上での試験だったので比較的楽でした。セッション D ではミュージカルのプレゼンとジェンダーのテスト、レポート提出の週が重なってしまい、とても大変でした。
大学外の活動について	学外の活動は特に行っていません。どこかへ出かけるときも大学内でできた友人と一緒にだったので、大学外で交流することはありませんでした。たまに勉強に疲れたときは、大学周辺を散歩したり、ジムに行きました。ジムは寮のすぐ近くと少し離れたところにあつて、大学のジムで行われていたダンスのレッスンに参加したりしました。またダンスの他にも色々なプログラムがあるようでしたが、特に sessionD は忙しく、私は参加できませんでした。
留学を志す人へ	はっきり言って、このサマーセッションズプログラムはとりあえず留学してみたいという人にはあまり向いていないと思います。何のために留学するのか、そこで何をしたいのかといった目的をしっかり持つことが大切です。そうすればくじけそうになったときに頑張れると思います。とはいえ私自身そんなに明確な目的があったわけではなく、時間のある大学生のうちにやりたいことを考え、留学という選択をしました。楽しいだけではない留学ですが、自分でよく考えて悔いのない充実した大学生活を過ごしてください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業			
	授業	授業	授業	授業	外出	外出	起床
午後	昼食	昼食	授業	昼食	外出	外出	自習
	自習	自習	授業	自習	外出	外出	自習
夕刻	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
夜	自習	自習	自習	自習	就寝	就寝	自習